

当社創業者 澁澤榮一翁の肖像が新しい日本銀行券の図柄に採用されたことについて

2019年4月9日、政府・日銀の発表のとおり、2024年度上期を目途に1万円、5千円、千円の紙幣を刷新、新1万円札の図柄に、当社創業者 澁澤榮一翁の肖像が採用されました。

(図柄については、<https://www.mof.go.jp/currency/bill/20190409.html> をご参照ください。)

当社といたしましても、大変喜ばしいことであり、近代日本資本主義の父といわれる澁澤榮一翁の功績が、あらためて広く知られる良い機会になることを希望しております。

この機会に、澁澤榮一翁と当社とのかかわりについての概略をご紹介します。

榮一翁は、1876年(明治9年)、深川福住町に本邸宅を構えました。以前、米問屋近江屋喜左衛門宅であった敷地内には蔵が数多く建ち並び、道路を隔てて大島川が流れるなど、当時の主要な運送手段であった川を利用した物資運搬の便もよい場所で、榮一翁は、邸内の蔵を地元の商人などに貸し出し、蔵貸業を営み始めました。

榮一翁は、ある夕、息子の篤二や子弟を集め、人間処世の心、経済運用のことについて語り、倉庫の話題にもおよび、深川福住町邸の蔵を活用して倉庫業を営めば、役員・労働者数十人が生活でき、その上で、相当の利益をあげられると説きました。そして、篤二に、「お前はまだ幼いけれども、父の志を継ぐ考えがあれば、試しにここにいる子弟とともに倉庫業経営方針を立ててきなさい。私がお前に資金を渡し、その業務を任せよう」と述べました。これが後の澁澤倉庫誕生につながったと語り継がれています。



榮一翁と篤二 (渋沢史料館所蔵)

榮一翁は、1897年(明治30年)3月30日、東京市深川区福住町5番地の澁澤邸内(現在の当社本社所在地)に、倉庫業を営む澁澤倉庫部を設立、営業主に榮一翁、倉庫部長に息子の篤二が就任しました。その後、1909年(明治42年)、澁澤倉庫株式会社創立総会が開催され、現在の会社組織となり、今年で創業123年目を迎えています。



榮一翁が遺した書「信ヲ万事ノ本ト為ス」(信用はあらゆるものごとの根本である)の考え方を大切に、今後とも社業の発展に努めてまいります。

創業者の精神については、<https://www.shibusawa.co.jp/company/future/>

当社の沿革については、<https://www.shibusawa.co.jp/story/> をご覧ください。